

# 出張急変時シミュレーション



## 連絡先

長浜赤十字病院 地域医療連携課 大橋直美

電話番号 0749-68-3314

FAX 0749-68-3315



**人間を救うのは人間だ**

**出張**

## 急変時シミュレーションについて

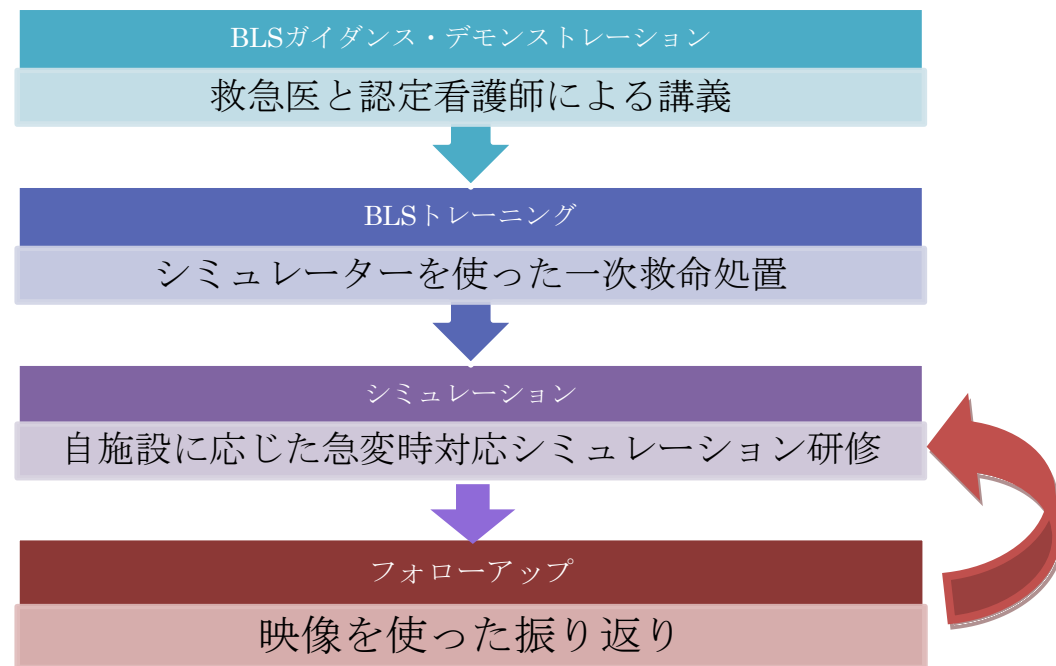
患者さまの急変に対応するため、現在医療・介護従事者を対象にした様々なトレーニング研修会（BLS, ACLS, ICLS など）が各地で開催されています。これらの研修会を受けることで、救命処置の技術を習得することができます。しかしながら、「研修を受けただけでは、実際の急変場でうまく対応する自信がないなあ・・・」という方が多いのが現状です。その原因として、このような研修会では個々の受講者の事情に合わせた研修ができず、「本当に診療中に急変が起きたら、実際どうすればいいの？」の答えがないからではないでしょうか。

本院では、先生方の診療所や施設に直接出張する形で急変時対応のトレーニングを行っています。事務職員を含めた全てのスタッフが対象で、まず簡単な心肺蘇生法の講義・訓練を行い、その後実際の診察室や処置室、待合室などを使い急変時対応時シミュレーションを行います。このシミュレーションはうまくできることが大切なのではなく、この擬似体験を通して各施設の実情に合わせた対応法を職員皆で考えたり、また今あるマニュアルの改善点を見つけ出したりすることが目的です。

ご興味のある先生・看護師の方、施設職員の方は、一度ご連絡いただければ幸いです。経費は相談させていただきます。

## プログラム例

- ★開催日程：診療終了後（例えば午前診のみの日の午後、夕方）
- ★基本2症例のシミュレーション研修を行う



## シミュレーションの様子



シミュレーターを使った一次救命処置



映像を使った振り返り

当院では地域医療支援病院として、24時間救急体制を実施し重症患者に対応しておりますが、救急を担当するスタッフは言うに及ばず、院内400名を超える入院患者の方が一の急変に迅速・的確な初期対応ができるように、各部署順番に急変時シミュレーション研修を繰り返しています。

このたび湖北地域の診療所・介護施設等での研修を、ご要望のある依頼先において出張で行うことにいたしました。外来患者さん・高齢の入所者の方の急変時、その予後左右するのは今そこにいるあなたです。ぜひこの研修にご参加ください。



長浜赤十字病院院長 濱上洋

当院では医療安全対策として、平成20年より、病棟や外来、各部署で患者急変時の対応について研修会を開催してきました。時には働く職員が突然の胸痛で倒れたとの設定で展開することもあります。患者さまの方が一の時をイメージして、救命手技の訓練やチームワークの取り方を学習しています。

高齢者が多く集う場では、ヒヤリとする急なことが発生していると伺います。その時に慌てないように観察や処置の技術を取得していただければと思います。

診療所や介護施設、デイサービス等で、ご利用いただければ幸いです。



地域医療連携課課長 大橋直美